

INAX

バックアンカーCP工法

設計・施工マニュアル

INDEX

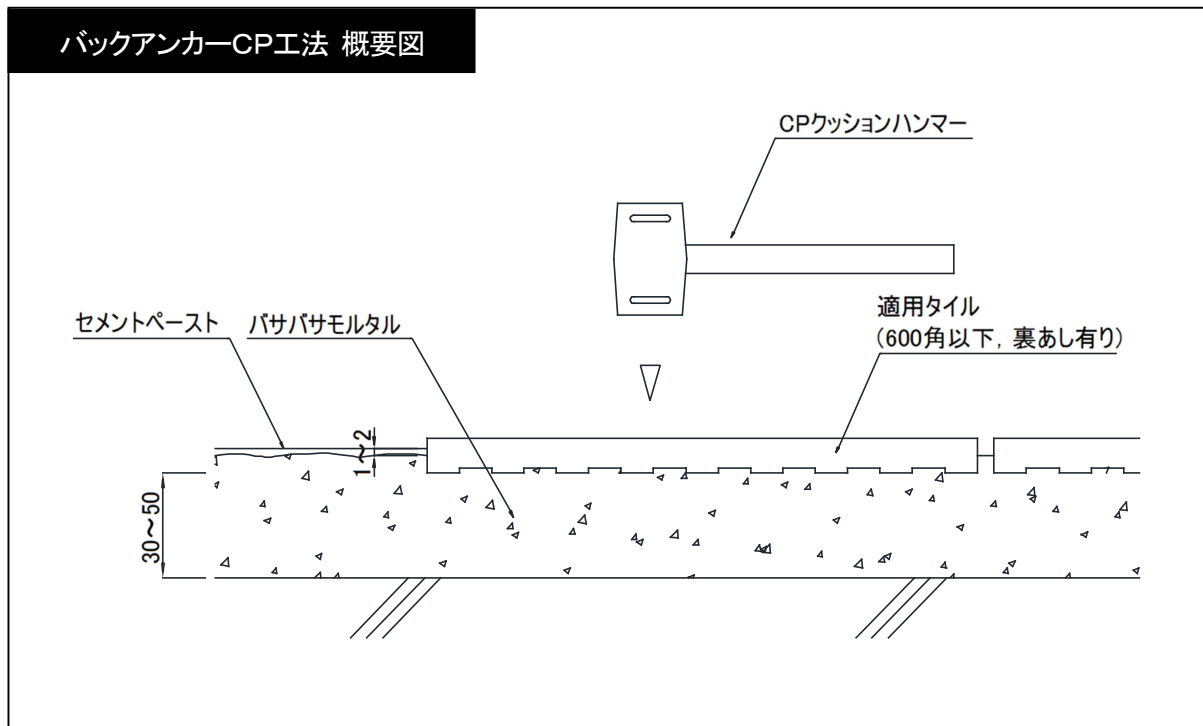
①	適用条件		
	■ 概要	...	2
	■ 適用部位	...	2
	■ 適用タイル	...	2
②	材料・部品		
	■ 一覧表	...	3
③	施工		
	■ 工事の工程	...	4
	■ 安全に関するご注意	...	4
	■ 工事を始める前に	...	5
	■ タイルの張り方	...	6

①適用条件

■概要

バックアンカーCP工法とは、衝撃吸収孔を付加した専用のゴムトン(CPクッションハンマー)を使用することで、薄いタイルのセメントペースト張り(バサモル施工)を可能にする工法です。

裏足のあるタイルとCPクッションハンマーを用いることで、施工後の浮き・タイルの割れを抑制できます。



■適用部位

屋内床・屋外床


■適用タイル

- ・形状 : 300~600mm角
- ・裏あし : あり
- ・その他 : 適用タイル一覧は、弊社総合カタログをご覧ください

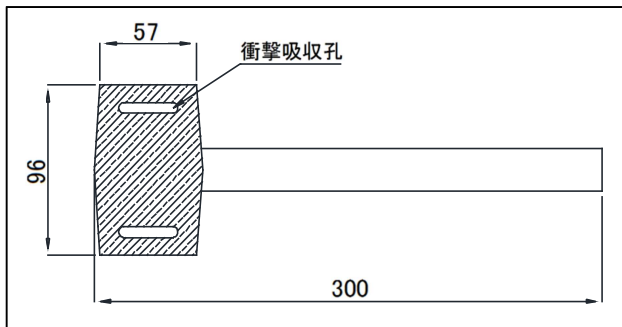
②材料・部品

■一覧表

バックアンカーCP 工法では、必ず以下の専用工具をお使いください。

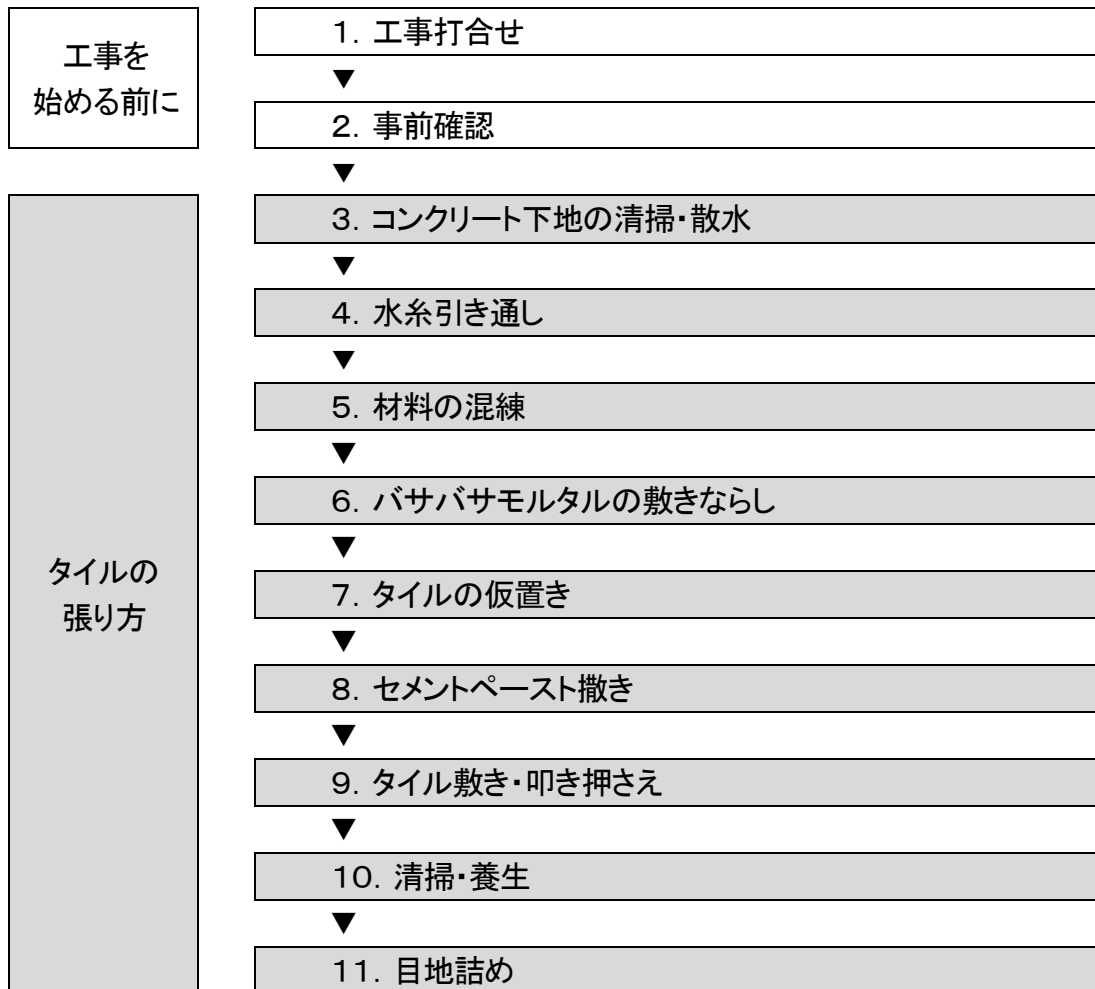
部品名	品番	形状	重量	材質	入数
CPクッションハンマー 	CP-KSH	全長300mm、 ヘッド部φ57mm、 幅96mm (※1)	約500g	ブタジエン +スチレン ブタジエン ゴム	1本/ケース

※1) CP クッションハンマーの各寸法は、下図の位置の寸法を示します。



③ 施工

■ 工事の工程



■ 安全に関するご注意

安全のため必ずお守りください。

警告

電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱い説明書に従い、安全に作業を行ってください。

注意

施工マニュアルの指示どおりに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、剥離や割れに至る場合があります。

■工事を始める前に

1. 工事打合せ

事前に、以下の項目について建設会社様と打ち合わせが必要になります。

■ 仕上げ代の決定

- ・タイル仕上げ面から何mm下がりでコンクリートスラブを打つかを決定します。
- ・仕上げ代は、コンクリート下地から「タイル厚+30~50mm」が基本です。

■ 通路の確保

- ・タイル施工後、バサバサモルタル・セメントペーストが硬化するまでの期間は歩行できません。養生期間中は、別の作業通路を確保してください。

■ 伸縮目地の配置

- ・伸縮目地は3mピッチ程度で配置し、囲まれた面積は10㎡以内としてください。

■ 割付け・納まり検討

- ・小さな切り物は面精度が出し難くなりますので、切断加工の少ない納まりをお奨めします。

2. 事前確認

事前に下記の事項について確認を行い、不具合箇所は建設会社様に修正を依頼してください。

■ 仕上げ代の確認

- ・仕上げ代が指定通りであることを確認します。

■ 工具の確認

- ・CPクッションハンマーのほかに、施工に必要な工具が揃っていることを確認してください。
⇒スケール、水平器、コテ、定規、水系、柄杓等

■タイルの張り方

3. コンクリート下地の清掃・散水

・コンクリート下地を清掃した後、散水します。

施工のポイント！

➤ 水が浮くくらいの量をコンクリート下地へ撒いてください。



4. 水系引き通し

- ・コンクリート下地から、指定通りの高さで水系を引き通します。
- ・仕上げ代は、コンクリート下地から、「タイル厚+30~50mm」が基本です。

5. 材料の混練

①バサバサモルタルの混練

・配合は、セメント：砂=1：3~5(重量比)、水はセメント重量の10~15%(重量比)を目安とします。

②セメントペーストの混練

・配合は、水：セメント=1~1.2：1を目安とします(重量比)。

6. バサバサモルタルの敷きならし

・あらかじめ水を撒いたコンクリート下地の上に、混練したバサバサモルタルを敷きならします。

施工のポイント！

- 敷きならすときに、バサバサモルタルでコンクリート躯体に擦りを入れることで、密着性が向上しやすくなります。
- バサバサモルタルの不足箇所ができないように定規ズリを行い、表面を平滑にして下さい。



- ・敷きならしの高さは、仕上げ面から約3mm下がり(タイル厚10mmの場合)を目安にします。



7. タイルの仮置き

- ・タイルを仮置きし、CPクッションハンマーで叩いて仮締めします。
- ・凹凸がある場合はバサバサモルタルを補充し、隙間がないようにします。

8. セメントペースト撒き

- ・セメントペーストを1～2mm厚になるように、バサバサモルタルの上に撒きます。
- ・1度に撒く面積は、タイル1枚分を基本とします。ただし、タイル形状が小さい場合や作業者の人数によって、適宜撒く面積を変えてください。
- ・セメントペースト量は、4～6kg/m²が目安です。



施工のポイント！

- セメントペーストが撒かれていない箇所が無いよう、全体に行き渡るようにしてください。
- セメントペーストを直接バサバサモルタルへかけると、バサバサモルタルにくぼみができる可能性があります。セメントペーストをコテの背に当てながら撒き、平滑に仕上がるようにして下さい。
- セメントペーストに保水剤を混ぜると、バサバサモルタルへの浸透が抑えられるため、作業性がよくなります。使用する場合は、各保水剤の仕様に従ってご使用ください。

9. タイル敷き・叩き押さえ

- ・セメントペーストの散布後、ただちにタイルを所定の位置に置きます。
- ・続いてCPクッションハンマーを使い、水糸の高さまで、タイル全体を叩き押さえます。
- ・面調整は、必ず水平器などの器具を用いて行ってください。



施工のポイント！

- タイル全体を万遍なく叩いてください。叩く位置に片寄りがあると、施工後のタイルの浮き・割れに繋がる恐れがあります。
- 過度に強く叩かないでください。CP クッションハンマーはタイルが割れにくい設計をしていますが、過度の衝撃ではタイルが割れる可能性があります。
- タイル張り作業中、適宜タイルを剥がして接着状況を確認してください。

10. 清掃・養生

- ・タイル張り後、ただちに清掃し、養生します。

11. 目地詰め

- ・バサバサモルタル、セメントペーストの硬化後(翌日以降)、目地詰めを行います。